

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-95659

(P2001-95659A)

(43)公開日 平成13年4月10日(2001.4.10)

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	テマコード(参考)
A 4 7 F 5/11		A 4 7 F 5/11	3 B 1 1 8
B 6 5 D 5/52		B 6 5 D 5/52	3 E 0 6 0

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平11-281226

(22)出願日 平成11年10月1日(1999.10.1)

(71)出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72)発明者 豊田 守浩

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74)代理人 100111659

弁理士 金山 聡

Fターム(参考) 3B118 GA05

3E060 AB01 CA02 CA12 CA23 CB02

CB17 CB23 CC02 CC17 CC33

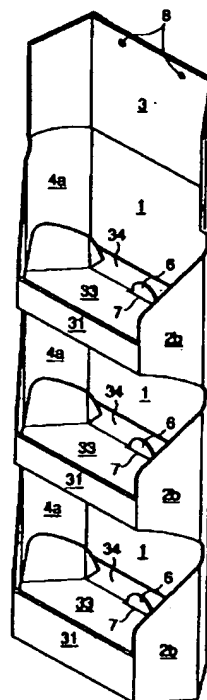
CC37 CC43 CC44

(54)【発明の名称】 吊下展示用紙容器

(57)【要約】

【課題】 組み立てた状態で棚部が確実に保持されるので重い商品を収容して壁面に沿わして吊り下げて展示した場合でも棚部が脱落するおそれがない吊下展示用紙容器を提供することである。

【解決手段】 前面板と両側面板と背面板を備えた角筒状体からなり、前面板に棚部前板を上下方向に適宜間隔で複数設け、前面板と両側面板に棚部前板の上縁の両端間を結ぶ閉環状切目を設けて、棚部前板の上縁にそれぞれ折罫を介して接続された棚部前内面板と棚部底板と棚部後面板からなる棚板を形成し、背面板に上方を向く係止片を形成し、棚板を折り曲げて棚部を形成して、棚部底板と棚部後面板間の折目に形成された切込に係止片を挿入して棚部に係止した構成の吊下展示用紙容器である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 前面板と両側面板と背面板を備えた角筒状体からなり、前記前面板に棚部前板を上下方向に適宜間隔で複数設け、前記前面板ないしは前記前面板と前記両側面板に、前記棚部前板の上縁の両端間を連結する閉環状切目を設けることにより、前記棚部前板の上縁にそれぞれ折畳を介して接続された棚部前内面板と棚部底板と棚部後面板からなる棚板を形成し、前記背面板に上方を向く係止片を形成し、前記棚板を折り曲げて棚部を形成して前記棚部底板と前記棚部後面板間の折目に形成された切込に前記係止片を挿入することにより棚部を係止して支持した構成からなることを特徴とする吊下展示用紙容器。

【請求項2】 前記角筒状体の断面形状が4角形状である4角筒状体とし、前記棚部底板の形状を前記4角筒状体の断面と同じ4角形状とした構成からなることを特徴とする請求項1記載の吊下展示用紙容器。

【請求項3】 前記角筒状体の前記両側面板を前側面板と後側面板にて構成して、前記角筒状体の断面形状が6角形状である6角筒状体とし、前記棚部底板の形状を前記6角筒状体の断面と同じ6角形状とした構成からなることを特徴とする請求項1記載の吊下展示用紙容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品を収納して吊下げて展示するための紙容器に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、吊下展示用紙容器としては、実開平5-41467号公報に記載されているような、基板の両側縁に左右側板の後端縁を接続し、左右側板の前端縁に棚部前板を接続するとともに、棚部前板を上下方向に沿って適宜間隔で複数設け、棚部前板の下端縁に棚部底板の前端縁を接続し、棚部前板の後端縁に、基板に設けた係止孔に係脱可能に係止する係止片を接続し、適宜商品を収容可能な棚部前板と棚部底板とからなる棚部を、基板の前側面に上下方向に沿って適宜間隔で複数設けたディスプレイ兼用収容箱が知られている。しかしながら、上記のディスプレイ兼用収容箱における棚部は、棚部前板の下端縁に棚部底板の前端縁が接続され、棚部底板の後端縁に突出した係止片を形成し、基板に設けた係止孔に係脱可能に係止して棚部を保持している構成であるので、ディスプレイ兼用収容箱に重い商品を収容した場合に係止片が係止孔から外れて棚部が脱落するおそれがあるとともに、棚部を組み立てた状態で係止片の先端部が基板の裏面から突き出した状態となるので、このディスプレイ兼用収容箱を壁面等に沿わして吊り下げた際に、係止片の基板の裏面に突き出した部分が押されて係止孔から外れて棚部が脱落するおそれがあるという欠点がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、棚部を組み立てた状態において棚部が確実に保持されるので重い商品を収容して壁面に沿わして吊り下げた場合でも棚部が脱落するおそれがない吊下展示用紙容器を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】前面板と両側面板と背面板を備えた角筒状体からなり、前面板に棚部前板を上下方向に適宜間隔で複数設け、前面板ないしは前面板と両側面板に、棚部前板の上縁の両端間を連結する閉環状切目を設けることにより、棚部前板の上縁にそれぞれ折畳を介して接続された棚部前内面板と棚部底板と棚部後面板からなる棚板を形成し、背面板に上方を向く係止片を形成し、棚板を折り曲げて棚部を形成して棚部底板と棚部後面板間の折目に形成された切込に係止片を挿入することにより棚部を係止して支持した構成とすることにより、簡単に組み立てることができ、組み立てた状態で背面板に形成された上方を向く半円状の係止片を、棚部底板と棚部後面板間の折目に形成された切込に挿入することにより係止した状態で棚部を確実に保持できるので、棚部に重い商品を収容して吊下展示用紙容器を壁面に沿わして吊り下げた場合でも係止部が外れて棚部が脱落するおそれがない。また、板紙素材を打ち抜いて作製された4角形状のブランク板を折り曲げて筒貼りするだけの簡単な工程で作製できるとともに、板紙素材の取り都合が良いのでコストダウンが可能となる。

【0005】上記の吊下展示用紙容器において、角筒状体を断面形状が4角形状である4角筒状体とし、棚部底板の形状を4角筒状体の断面と同じ4角形状とした構成とすることにより、直方体状の製品を収納して展示するのに適した棚部を有する吊下展示用紙容器とすることができる。

【0006】上記の吊下展示用紙容器において、角筒状体の両側面板を前側面板と後側面板にて構成して、角筒状体を断面形状が6角形状である6角筒状体とし、棚部底板の形状を6角筒状体の断面と同じ6角形状とした構成とすることにより、円筒状の製品を収納した場合に側板が製品に沿う形状となるとともに、角張らないのでコンパクトな外観を有する吊下展示用紙容器とすることができる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて本発明の実施の形態を説明する。図1は本発明の第1実施形態の組み立てた状態を示す斜視図、図2は本発明の第1実施形態のブランク板を示す平面図、図3は本発明の第1実施形態のブランク板を筒貼りした状態を示す（イ）は平面図で（ロ）は底面図、図4は本発明の第2実施形態のブランク板を示す平面図、図5は本発明の第3実施形態のブランク板を示す平面図、図6は本発明の第4実施形態のブランク板を示す平面図であって、1は背面板、2、

4は側面板、2a、4aは後側面板、2b、4bは前側面板、3は前面板、5は接着板、6は係止片、7は切込、8は吊下孔、11、12、12'、13、14、15、15'、16は折罫、21a、21b、22a、22b、23、24a、24bは切目、23'、25a、25b、26a、26b、27a、27b、28a、28bは切目、31は棚部前板、32は棚部前内板、33、33'、35、35'は棚部底板、34は棚部後面板、41、42、43は折罫、44a、44b、45a、45b、46a、46bは折罫をそれぞれ表す。

【0008】本発明の第1実施形態は、図2に示すブランク板を筒貼りし、図3に示す折り畳んだ状態とした後に、組み立てることにより作製される図1に示すおりの吊下展示用紙容器であって、背面板1と後側面板2aと前側面板2bと前面板3と前側面板4bと後側面板4aとを有する断面が六角形状の六角筒状体からなり、前面板3に棚部前板31を上下方向に適宜間隔で3個設け、前面板3と前側面板2b、4bと後側面板2a、4aに、棚部前板31の上縁の両端間を連結する閉環状切目を設けて、棚部前板31の上縁にそれぞれ折罫を介して接続された棚部前内板32と棚部底板33と棚部後面板34からなる棚板を区画形成し、形成された棚板を折罫にて折り曲げて棚部を形成して、棚部底板33と棚部後面板34間の折目43に形成された切込7に、背面板1の棚部前板31の下縁と対応する位置に上方を向く半円状に形成された係止片6を挿入して棚部を係止保持した構成である。この構成の場合、棚部は棚部底板33と棚部後面板34間の切込7に、背面板1に形成された係止片6を差し込んで係止保持しているので、棚部の強度が優れるとともに、背面板1の後に係止片6が突出することがなく壁面等に沿わして吊り下げることができる。また、側面板が大きく切り欠かれており棚部に収納する商品の上部側面を見せることができるので展示効果が優れたものとなる。なお、本発明の実施形態において、形成する棚部の数、上下方向の棚部の間隔に関しては、吊下展示用紙容器の上下方向の長さ、収納する製品の大きさにより適宜決めればよいものである。

【0009】本発明の第1実施形態のブランク板は、図2に示すとおり、背面板1と後側面板2aと前側面板2bと正面板3と前側面板4bと後側面板4aと接着板5とが、それぞれ折罫11と折罫12と折罫13と折罫14と折罫15と折罫16を介して接続され、前面板3には3個の棚部前板31が上下方向に適宜間隔を置いて設けられ、棚部前板31の上縁の両端を結ぶ、垂直方向の切目21aと曲線状の切目24aと水平方向の切目23と曲線状の切目24bと垂直方向の切目21bからなる閉環状切目により、棚部前板31の上縁にそれぞれ折罫41と折罫42と折罫43を介して接続された棚部前内板32と棚部底板33と棚部後面板34からなり、棚部後面板34の両側に切目22aおよび切目22bが形成されるとともに棚部底板33の両側に折罫44aおよび折罫44bを介して折罫45aおよび折罫45bを有する折り曲げ片が接続された棚板が区画形成されており、前面板3には左右方向の中央部に上下方向に適宜間隔を置いて棚部前

板31の下縁に対応する位置に3箇所の上方を向く半円状の係止片6が形成され、背面板1と正面板3の上部にはそれぞれ吊下孔8が形成された形状である。

【0010】図2に示すブランク板を折罫12と折罫15にて折り曲げて、背面板1の側端部と接着板5を接着して筒貼りすることにより、図3(イ)、(ロ)に示す折り畳んだ状態となる。本発明の吊下展示用紙容器はこの折り畳んだ状態で保管ないし輸送されるので嵩張ることがなくきわめて取扱いが容易である。この折り畳んだ状態から六角筒状に起こし、棚板を折り曲げて棚部を組み立て係止片6にて係止して棚部を保持することにより、図1に示す第1実施形態の吊下展示用紙容器ができ上がる。

【0011】図3(イ)、(ロ)に示す折り畳んだ状態から組み立てるには、折罫11と折罫13と折罫14と折罫16にて折り曲げて、背面板1と後側面板2aと前側面板2bと正面板3と前側面板4bと後側面板4aを起こし六角筒状とした後に、3箇所の棚板を、棚部底板33の側端部を折罫44a、44bと折罫45a、45bにて上側に折り曲げるとともに折罫43にて棚部後面板34を上方に折り曲げ、折罫41にて棚部前内板32を内側へ折り曲げ、折罫42にて棚部底板33を上側へ折り曲げて棚部を形成し、棚部底板33と棚部後面板34間の折罫43の中央部に形成された切込7に、背面板1に上向きの半円状に形成された係止片6を差し込んで保持することにより棚部の組み立てを行い、曲線状の切目24aと水平方向の切目23と曲線状の切目24bにより区画された前側面板2bと正面板3と前側面板4bとを折罫12、13、14、15にてそれぞれ後側面板2aと正面板3と後側面板4a面に重ね合わせて上部を開放した状態とし、吊下展示用紙容器の組み立てが完了する。この状態で棚部に製品を収納して吊下孔8に紐を通して吊り下げて展示することができる。

【0012】本発明の第1実施形態では、全体が六角筒状であり棚部底板33が六角形状であるので、円筒状の製品を収納した場合に棚部の両側が製品に沿った状態となり、外形がコンパクトで角張らない形状となっており、前側面板2bと前側面板4bにそれぞれ後側面板2aと後側面板2bに達する曲線状の切目24aと切目24bにより側面板が大きく切り欠かれているので、棚部に収納した商品の上部を側面からも見ることができ優れた展示効果が得られるものである。

【0013】本発明の第2実施形態のブランク板は、図4に示すとおり、それぞれの棚部前板31の上縁に、棚部前板31の上縁の両端を結ぶ、垂直方向の切目21aと角状の切目25aと垂直方向の切目22aと水平方向の切目23と垂直方向の切目22bと角状の切目25bと垂直方向の切目21bからなる閉環状切目により、棚部前板31の上縁にそれぞれ折罫41と折罫42と折罫43を介して接続された棚部前内板32と棚部底板33'と棚部後面板34とからなる棚板が区画形成されており、角状の切目25aおよび切目25

5

bの頂部と前側面板2b、4bと後側面板2a、4a間の折畳を結ぶ水平方向の切目28aおよび切目28bが形成された形状である。第2実施形態の組み立てた状態は、全体が6角筒状体であり棚部底板33'の形状は6角筒状体の断面と同じ6角形状であり、側面板の切り欠かれた形状が異なる以外は第1実施形態と同じ効果が得られるものである。

【0014】本発明の第3実施形態のブランク板は、図5に示すとおりであり、背面板1と側面板2と正面板3と側面板4と接着板5とが折畳を介して接続され、前
10 面板3には3個の棚部前板31が上下方向に適宜間隔をおいて設けられ、それぞれの棚部前板31の上縁に、棚部前板31の上縁の両端を結ぶ、垂直方向の切目21aと円弧状の切目26aと垂直方向の切目22aと水平方向の切目23と垂直方向の切目22bと円弧状の切目26bと垂直方向の切目21bからなる閉環状切目により、棚部前板31の上縁にそれぞれ折畳41と折畳42と折畳43を介して接続された棚部前内面板32と棚部底板35と棚部後面板34からなり、棚部
20 底板35の両側に折畳46aおよび折畳46bを介して折曲片が接続された棚板が区画形成されており、最上部の水平方向の切目23が側面板2と側面板4の幅方向の中央に達する長い水平方向の切目23'とされ、切目23'より上部の側面板2、4の幅方向の中央部に折畳12'、15'が形成された形状である。第3実施形態の組み立てた状態は、全体が4角筒状体であり棚部底板35の形状は4角筒状体の断面と同じ4角形状となるものであって、直方体状の製品を収納するのに適した棚部の形状となっている。

【0015】本発明の第4実施形態のブランク板は、図6に示すとおりであり、それぞれの棚部前板31の上縁
30 に、棚部前板31の上縁の両端を結ぶ、垂直方向の切目21aと垂直方向の切目27aと垂直方向の切目22aと水平方向の切目23と垂直方向の切目22bと垂直方向の切目27bと垂直方向の切目21bからなる閉環状切目により、棚部前板31の上縁にそれぞれ折畳41と折畳42と折畳43を介して接続された棚部前内面板32と棚部底板35'と棚部後面板34からなる棚板が区画形成されている形状である。第3実施形態の組み立てた状態は、全体が4角筒状体であり棚部底板35'が4角形状をなしており、第3実施形態と同じ効果が得られるものである。なお、第1、第2、第3、第4実施形態において係止片6を挿入する切目7
40 は棚部底板33、33'、35、35'と棚部後面板34間の折畳43の箇所に形成されているが、切目を棚部後面板34に形成した構成としてもよい。

【0016】本発明の実施形態の吊下展示用紙容器を作製するための素材としては、剛性の優れた板紙の単体ないしは板紙とプラスチック層との積層体が使用できる。板紙としては坪量が300～600g/m²の厚いものが好ましい。板紙とプラスチック層との積層体として、板紙の表面にポリプロピレン、ポリエチレンテレフ
50 タレート等のプラスチックフィルムを積層したもの、板

6

紙の表面にプラスチック層をコーティングしたものを使用することもできる。この場合は、表面光沢および印刷効果が良くなるので優れた展示効果が得られる。絵柄層は板紙の外面に形成される。

【0017】本発明の吊下展示用紙容器は、板紙素材をブランク板の形状に打ち抜いて、筒貼りするだけの簡単な工程にて製造できるとともに、ブランク板が4角形状であって板紙素材の取り都合が良く板紙素材のロスが少なくなるのでコストダウンが可能となる。また、折り畳んだ状態で保管、輸送が可能であるので嵩を取らず取扱
いがきわめて容易であり、使用時に簡単に組み立てることができる。更に、本発明の吊下展示用紙容器は板紙製であり、従来から使用されているプラスチック製ないしは金属ワイヤー製の吊下展示用容器と比較して、使用済
み品の廃棄が容易であり環境面で優れたものとなる。

【0018】

【発明の効果】前面板と両側面板と背面板を備えた角筒状体からなり、前面板に棚部前板を上下方向に適宜間隔で複数設け、前面板ないしは前面板と両側面板に、棚部前板の上縁の両端間を連結する閉環状切目を設けることにより、棚部前板の上縁にそれぞれ折畳を介して接続された棚部前内面板と棚部底板と棚部後面板からなる棚板を形成し、背面板に上方を向く係止片を形成し、棚板を折り曲げて棚部を形成して棚部底板と棚部後面板間の折目に形成された切込に係止片を挿入することにより棚部を係止して支持した構成とすることにより、簡単に組み立てることができ、組み立てた状態で背面板に形成された上方を向く半円状の係止片を、棚部底板と棚部後面板間の折目に形成された切込に挿入することにより係止した状態で棚板を確実に保持できるので、棚部に重い商品
を収容して吊下展示用紙容器を壁面に沿わして吊り下げた場合でも係止部が外れて棚部が脱落するおそれがない。また、板紙素材を打ち抜いて作製された4角形状のブランク板を折り曲げて筒貼りするだけの簡単な工程で作製できるとともに、板紙素材の取り都合が良いのでコストダウンが可能となる。上記の吊下展示用紙容器において、角筒状体を断面形状が4角形状である4角筒状体とし、棚部底板の形状を4角筒状体の断面と同じ4角形状とした構成とすることにより、直方体状の製品を収納して展示するのに適した棚部を有する吊下展示用紙容器とすることができる。また、角筒状体の両側面板を前側
面板と後側面板にて構成して、角筒状体を断面形状が6角形状である6角筒状体とし、棚部底板の形状を6角筒状体の断面と同じ6角形状とした構成とすることにより、円筒状の製品を収納した場合に側板が製品に沿う形状となるとともに、角張らないのでコンパクトな外観を有する吊下展示用紙容器とすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態の組み立てた状態を示す斜視図。

7

【図2】本発明の第1実施形態のブランク板を示す平面図。

【図3】本発明の第1実施形態のブランク板を筒貼りした状態を示す(イ)は平面図で(ロ)は底面図。

【図4】本発明の第2実施形態のブランク板を示す平面図。

【図5】本発明の第3実施形態のブランク板を示す平面図。

【図6】本発明の第4実施形態のブランク板を示す平面図。

【符号の説明】

- 1 背面板
2, 4 側面板
2a, 4a 後側面板
2b, 4b 前側面板

3 前面板

5 接着板

6 係止片

7 切込

8 吊下用孔

11, 12, 12', 13, 14, 15, 15', 16 折罫

21a, 21b, 22a, 22b, 23, 24a, 24b 切目

23', 25a, 25b, 26a, 26b, 27a, 27b, 28a, 28b 切目

31 棚部前板

10 32 棚部前内板

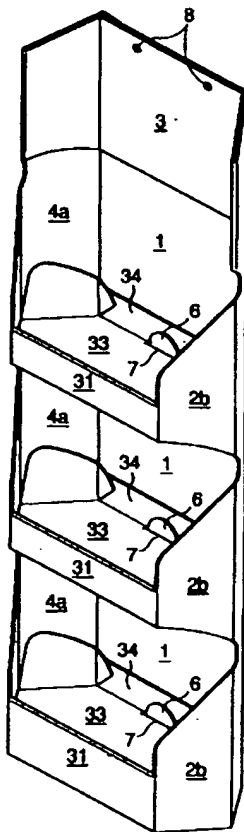
33, 33', 35, 35' 棚部底板

34 棚部后面板

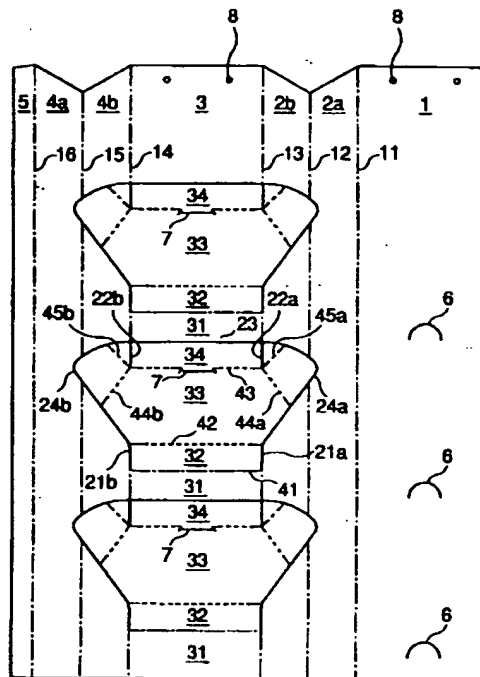
41, 42, 43 折罫

44a, 44b, 45a, 45b, 46a, 46b 折罫

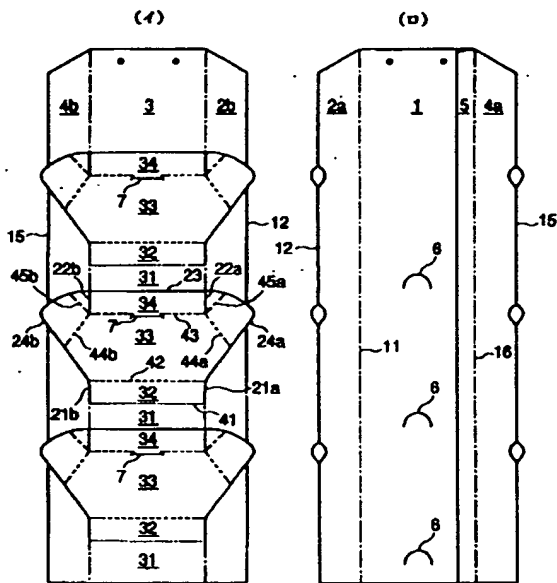
【図1】



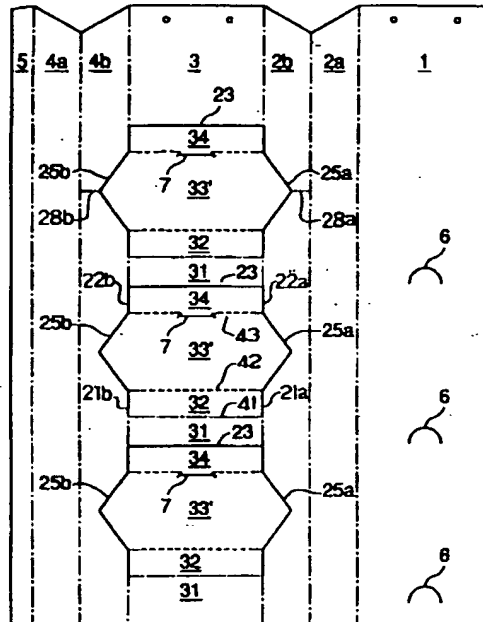
【図2】



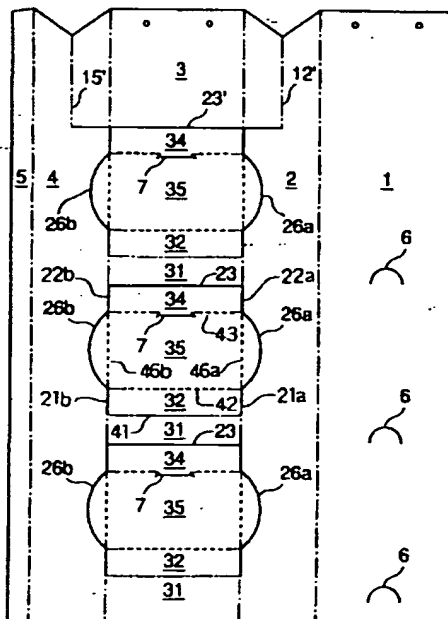
【図3】



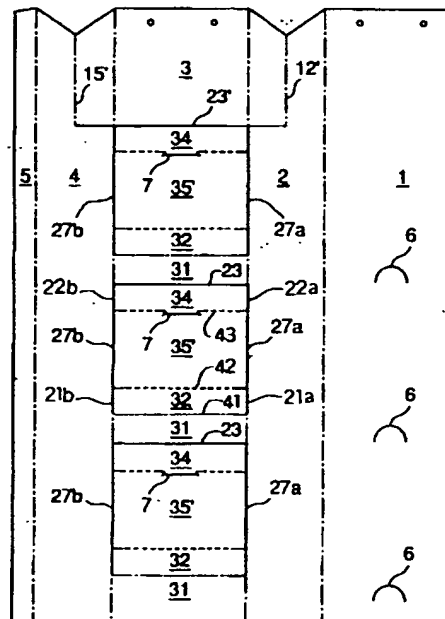
【図4】



【図5】



【図6】



CLIPPEDIMAGE= JP02001095659A

PAT-NO: JP02001095659A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001095659 A

TITLE: PAPER-MADE HANGING DISPLAY CASE

PUBN-DATE: April 10, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TOYODA, MORIHIRO

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

DAINIPPON PRINTING CO LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP11281226

APPL-DATE: October 1, 1999

INT-CL (IPC): A47F005/11;B65D005/52

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a paper-made hanging display case whose shelves do not fall down even when hung along the wall face with heavy products being stored since the shelves are firmly held in an assembled state.

SOLUTION: This paper-made hanging display case is constituted of a square pillar-like body consisting of a front face board 3, both side face boards 2b, 4b, 2a, 4a, and a back face board 1. The front face board 3 is formed with a plurality of shelf front boards 31 at proper intervals in the up and down direction. In a blank paper, cuts in the shape forming a part of a ring each of which connects both ends of an upper edge of each shelf front board 31 are formed in the front face board and the side face boards to

mark out shelf
boards, each consisting of a shelf front inner board 32, a
shelf bottom board
33 (35), and a shelf back face board 34, all of which are
connected to each
other via folding lines, on the upper edge of each shelf
front board 31. In
the back face board 1, hook pieces 6 facing upwards are
formed. Shelves are
formed by folding the shelf boards and then fixed by
inserting the hook pieces
6 into cuts 7 formed on the folds between the shelf bottom
boards and the shelf
back face boards to assemble the paper-made hanging display
case.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO